

第135号
ボランティア情報 ふじいでら
プラム

社会福祉法人 藤井寺市社会福祉協議会
藤井寺市ボランティアセンター
藤井寺市ボランティア連絡会
〒583-0035 藤井寺市北岡 1-2-8
TEL 072-938-8220
FAX 072-938-8221
E-mail fureai@silver.ocn.ne.jp
URL <http://www.fujiidera-shakyo.net>

第1回 社協フェスタ

考えよう！災害とボランティア

平成28年1月17日(日) 10:00~14:30 ふれあいセンター(福社会館)にて

1階(屋外)

- ・災害食アベニュー
- ・防災体験
- ・防災トイレ展示
- ・防災ボランティア登録

2階

- ・ボランティア団体による
舞台発表

社協入口前

- ・赤い羽根共同募金コーナー
- ・日本赤十字募金コーナー

中学生以下を対象とし
た、スタンプラリー、
クイズラリーも実施！



4階

- ・防災体験ミニ
- ・防災グッズ展示
- ・復興物産展
- ・ボランティア体験コーナー
- ・ふれあいバザー など

~社協フェスタ ボランティア募集!!~

あなたも一緒にイベントを作り上げてみませんか？年齢・性別は問いません。

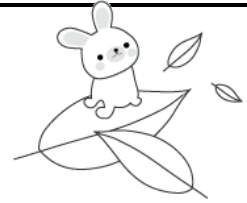
ボランティア初心者の方も大歓迎！

日時：1月17日(日) 午前9時~午後3時30分

場所：ふれあいセンター(福社会館)

内容：(例) ブースの手伝い、駐車場整備、受付、カメラマン 宣伝係など

いろいろありました、ボラ連。2015年・秋



その1

平成27年度

河南ブロックボランティア連絡会交流会・報告

10月23日（金）、東大阪市花園にある『花園ラグビー場』で行われた、東大阪市ボランティア連絡会主催の、河南ブロックボランティア連絡会交流会に藤井寺市ボランティア連絡会から、4名の方が参加しました。（交流会全体では、60名参加。）ラグビーのワールドカップ開催中という時期もあってか、施設内見学の際には、熱心にグラウンドや展示物を見学される方が多くいらっしゃいました。



ラグビー場グラウンドの見学の様子

見学後は、東大阪の名物のカレーパンをいただきながら、東大阪市ボランティア団体の大型紙芝居を見ながら、他の市町村の方と仲良く交流されていました。

その2

平成27年度

ボランティア見学交流会 IN 神戸



10月28日（水）、今年度のボランティア見学交流会を実施しました。人と防災未来センター（ボランティア連絡会からは、12名の参加。）今年、阪神大震災から20年目ということで、午前中、人と防災未来センターへ。震災当時の映像や震災で亡くなられた方の遺品の展示を見学し、参加者は当時の事に思いをはせながら、改めて日ごろからの防災の必要性について実感しておられるようでした。（午後からは、キンビール神戸工場・かねふくめんたいパークへの見学を実施。）

祝！！大阪府知事表彰・厚生労働大臣賞 W受賞

その3

（授賞式：平成27年11月26日（木） 会場：大阪国際交流センター）

【厚生労働大臣表彰：
シルバーアドバイザー藤井寺】

【大阪府知事表彰：
日本お手玉の会藤井寺支部お手玉サークル“遊”】



～高齢の方に対する福祉サービスについて～

ご高齢の方が、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすためには、福祉サービスを上手に活用することが大切です。しかし今日、高齢者福祉サービスは、様々な法律の改正等により多様化・複雑化しています。この研修会にぜひ参加いただき、より知っていただくきっかけになればと考えます。

◆講演

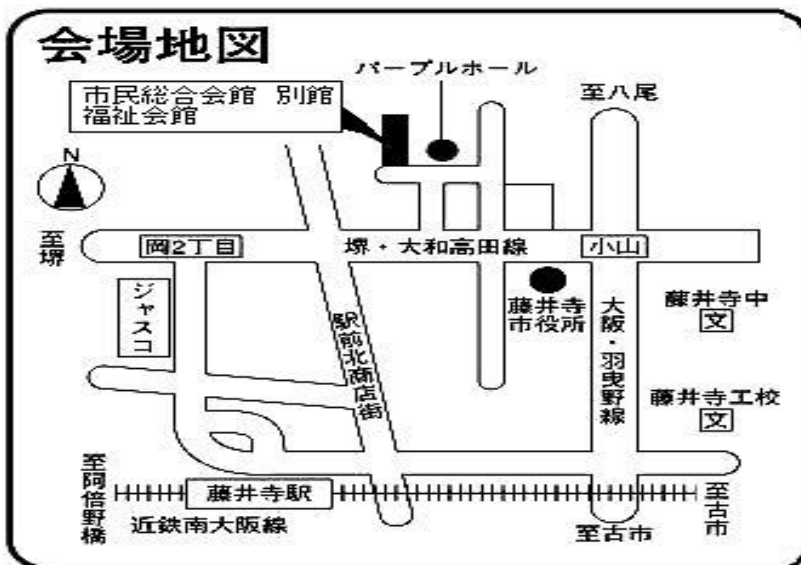
『市内の高齢者福祉サービスと高齢者施設の種類について』

(講師) 藤井寺市健康福祉部高齢介護課職員
/ 藤井寺市地域包括支援センター職員

◆平成27年12月9日(水)

午後2時から午後4時まで

◆ふれあいセンター(市立福祉会館)
2階講座室にて



◆自由参加(参加費無料)

【主催】藤井寺市ボランティア連絡会

(事務局)藤井寺市社会福祉協議会

TEL: 072-938-8220

藤井寺市ボランティア連絡会
公開研修会

求む！ボランティア

(連絡先)

TEL : 072-938-8220

MAIL : fureai@silver.ocn.ne.jp

募集

イベントボランティア・託児ボランティア募集！！

つどいの広場ふじいでらでボランティアをしませんか？

ボランティアの内容は、趣味や特技を活かして頂く『イベントボランティア』と、お子さんの託児をスタッフと一緒にお手伝い頂く『託児ボランティア』の2種類。

楽しみながら気軽にできる、ふれあいのお手伝いです。

詳しくは下記までお問い合わせ下さい。

実施場所：つどいの広場ふじいでら（住所：藤井寺市小山9-1-16）

問・申込は直接発信者へ：TEL 072-936-0011【スタッフ】



その3

ボランティア元年から20年



高まるボランティアの役割

今年の1月17日に、阪神淡路大震災から丸20年を迎えました。20年前、一年間で全国から137万人を超えるボランティアの方が駆けつけ、ボランティア活動が行われました。2ヶ月で100万人を超え、その内6割から7割がボランティア経験のない、初心者ボランティアであったと言われています。

災害ボランティアの役割の1つとして、被災者の気持ちに寄り添う「心のケア」の、サポート的役割が近年改めて見直されています。気持ちに寄り添った活動を行っていくには、まず日々変化する被災地の状況を把握すること、そして被災者の気持ちを知ることが大切です。被災地について事前に情報収集をしたり、現地に行き行って色々話を聞いたりすることが求められます。

辛い気持ちを誰かに話すことは、自分の気持ちを整理し、ストレスの軽減につながります。ボランティア活動では、一人ひとりに向けた細やかな支援が可能となります。専門知識や経験がなくても、ボランティアだからこそできる支援の形があります。日頃から、自分の住む地域の特徴や行政のことについて調べ、“災害が発生した時にどう動くか”と考えておくことや、災害に限ってではなく、要支援者の気持ちを理解することで、どんな役割が求められているかが見えてくることもあります。

参考資料

「災害ボランティアの役割や必要性を学ぶ」 NPO法人 災害支援ネットワークさくら
sakurapi.jp/2014/09/26/1062/

「視点・論点 NHK解説委員室解説アーカイブス」

www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/207667.html

【開所時間】 月～金曜日（土・日・祝除く） 午前9時～午後5時30分